

**教育福祉委員会
議会報告会**

**流山市内の公共交通の取り組み
と東部地域の交通課題**

◆流山ぐりーんバス車内掲示

ぐりーんバス

運賃改定

(令和5年11月16日から)

運賃改定内容

改定前 → 改定後

詳細

初乗り運賃 (大人現金)

※小人は大人運賃の半額

→

160円

→

180円

運賃制度

→

均一制運賃
(松ヶ丘・野々下ルートを除く)

→

対距離区間制運賃
※詳細は「時刻表&ルート図」参照

障害者及び妊婦の方

※小人は大人運賃の半額

→

大人現金80円

→

大人運賃の半額

目的

- ・ぐりーんバス事業は収支率50%を事業継続のための指標としています。
- ・事業継続には燃料高騰等による運行経費増加に応じた運賃収入が必要です。

引き続きぐりーんバスのご利用をよろしくお願ひします。

問合せ先：流山市まちづくり推進課 04-7150-6090

2

コロナの影響： 公共交通の利用者数の現状

(令和元年9月と令和3年9月を比較)

- ・ 乗合バス・・・27.8%減
- ・ タクシー・・・46.5%減
- ・ 中小民営鉄道・・・50%以上減の事業者が18%

※出典：国土交通省「新型コロナウイルス感染症による関係業界への影響調査」

◆広報ながれやま(令和5年10月11日号)掲載

高齢者免許返納一時金制度を開始

運転免許証を自主返納した75歳以上の方へ

11月16日から、高齢者の運転免許証の自主返納促進の一助とするため、運転免許証を自主返納された75歳以上の方を対象に、1万800円分(1回限り)を助成する制度を開始します。詳細は市ホームページをご覧ください。市役所まちづくり推進課にお問い合わせください。

▷助成方法=次の①～③のうちいずれかを選択※対象となる事業者を利用した場合に限ります。

①民間路線バスの高齢者向け定期券の購入助成券1万800円分

②タクシー利用助成券450円分を24枚

③民間路線バスの高齢者向け定期券の購入助成券5,400円分およびタクシー利用助成券450円分を12枚

☑申請時に流山市に住民票があり、運転経歴証明書の取得時点で75歳以上の方

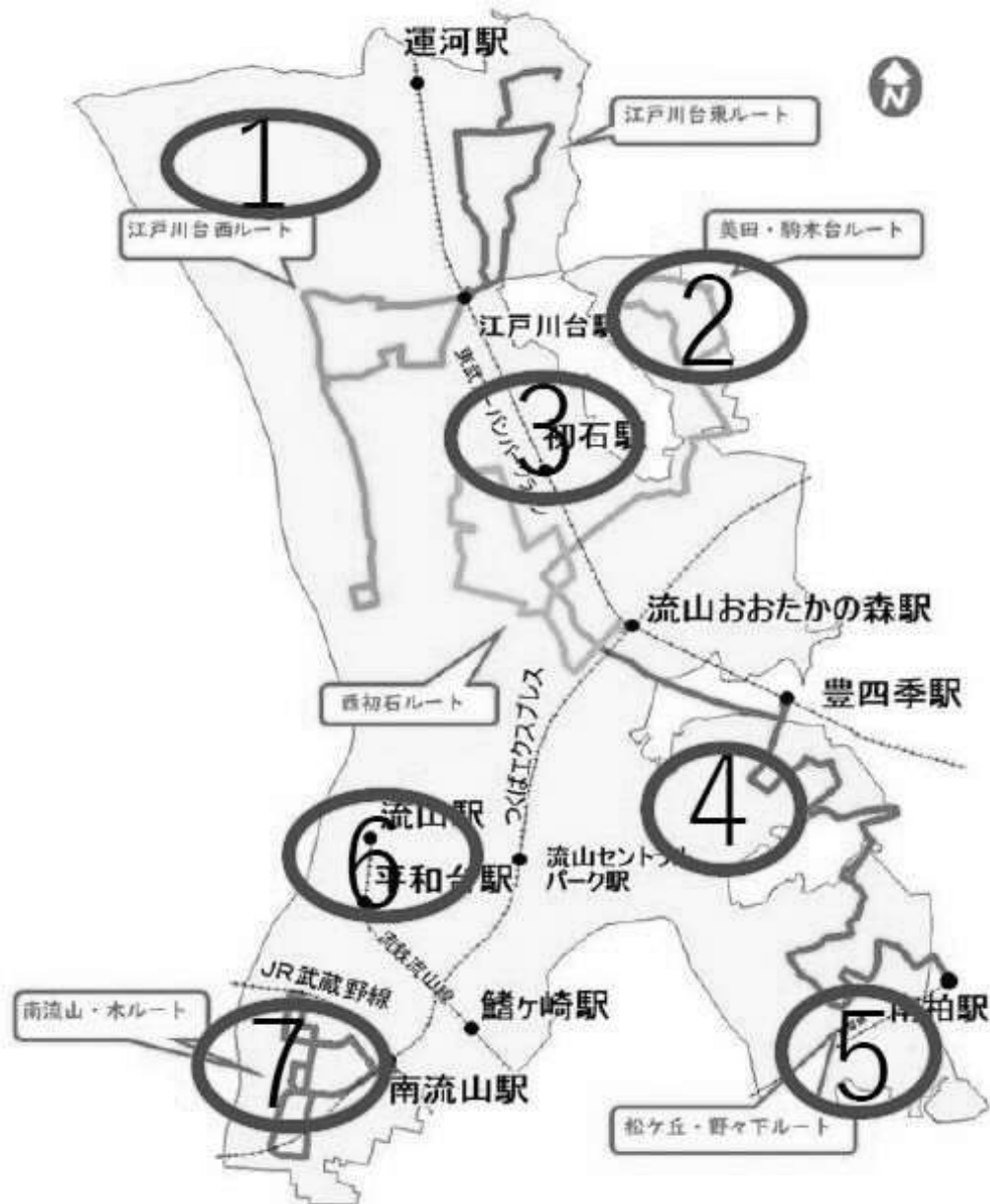
☎まちづくり推進課 ☎7150-6090

ID 1043452



資料 1

出典：流山市HP



現在顕在化している 交通問題地域

1. 美田駒木台ルート

◆収支率が低下している原因

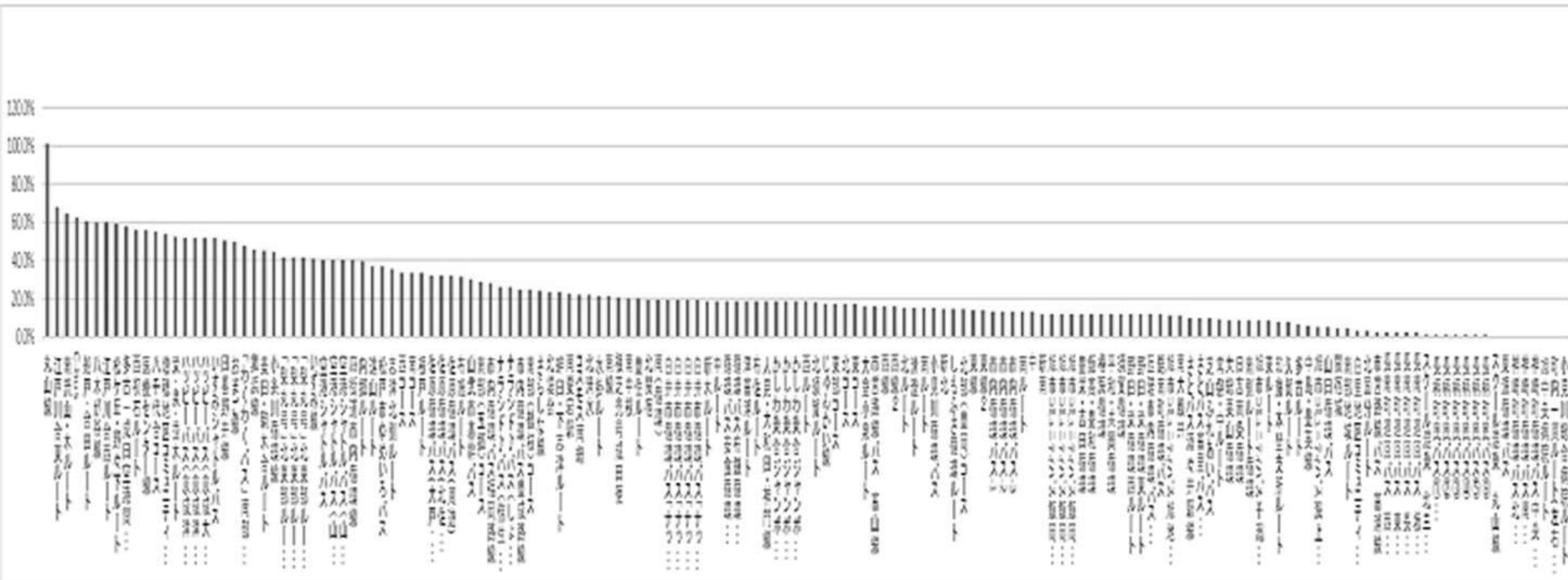
- 駅周辺の交通渋滞
 - 鉄道の踏切
 - 走行距離が長い
- ➔
- 定時運行が困難
 - 運休の発生

◆協議事項

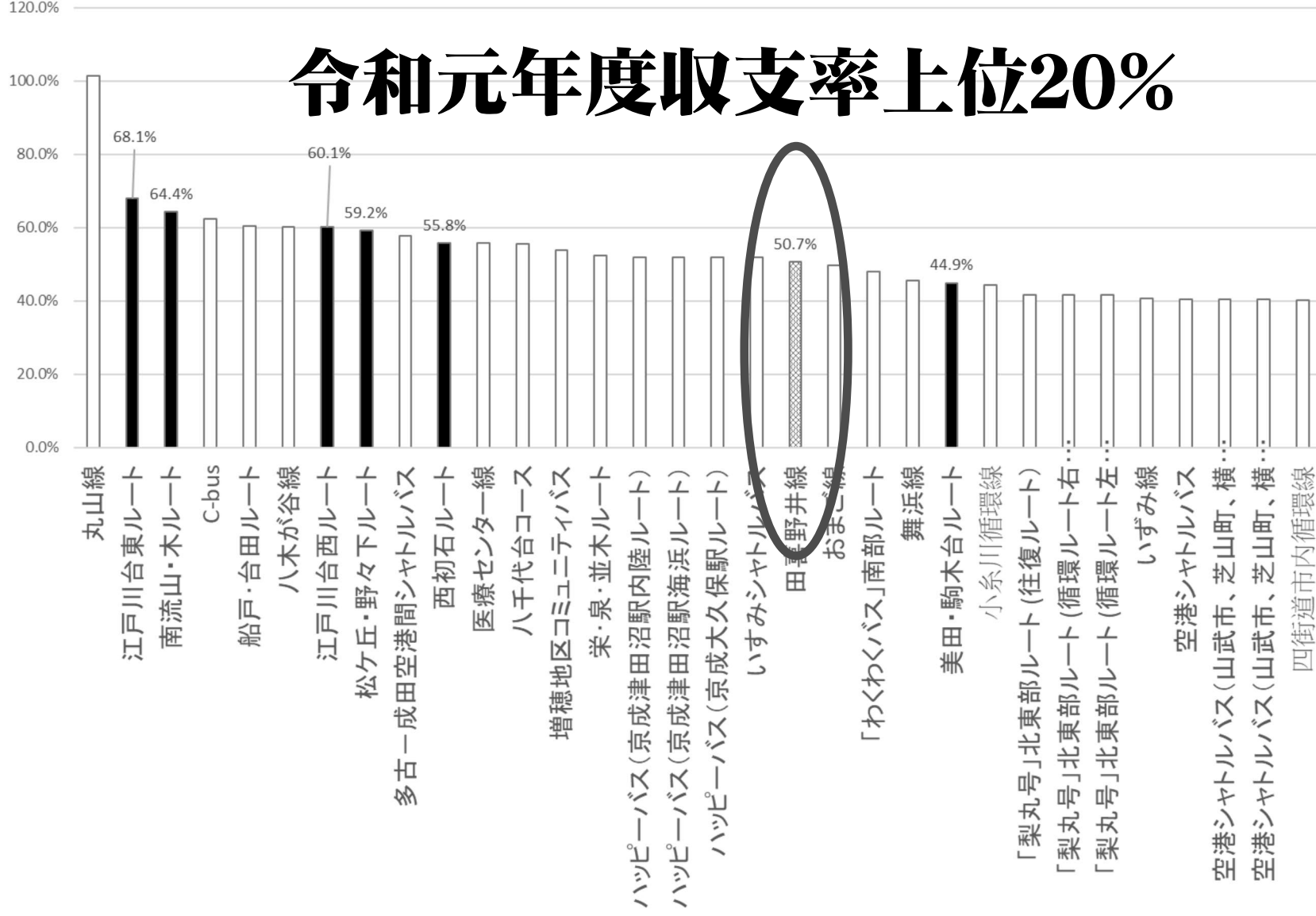
- 変更運行計画(案)
1. 発着場所を流山おおたかの森駅西口から東口に変更
 2. 東口駅前広場に乗降場所を確保
 3. 廃止となるバス停(右図②③④)利用者への影響
 4. 新たなバス停の必要性



千葉県内コミュニティバス 令和元年度収支率



令和元年度取支率上位20%

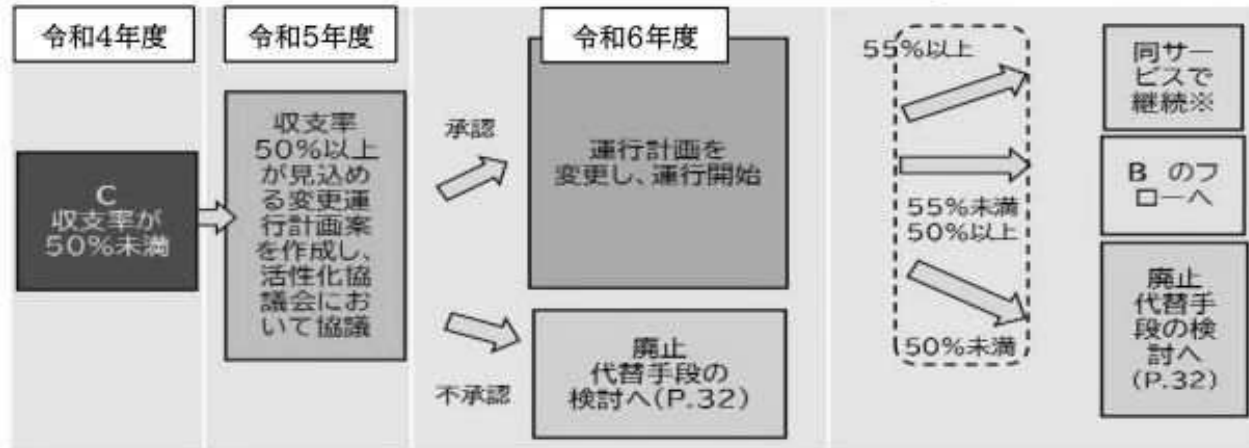


2. 美田駒木台ルート

◆現状

年度	年間利用者数	収支率	運休数
令和4年度	101,486人	46.4%	8便
令和5年度 (4~9月)	54,090人	44.9%	9便

◆流山ぐりーんバスの継続・変更・廃止検討フロー



2. 初石（路線バス）

◆京成バス(株)路線 流01・流02

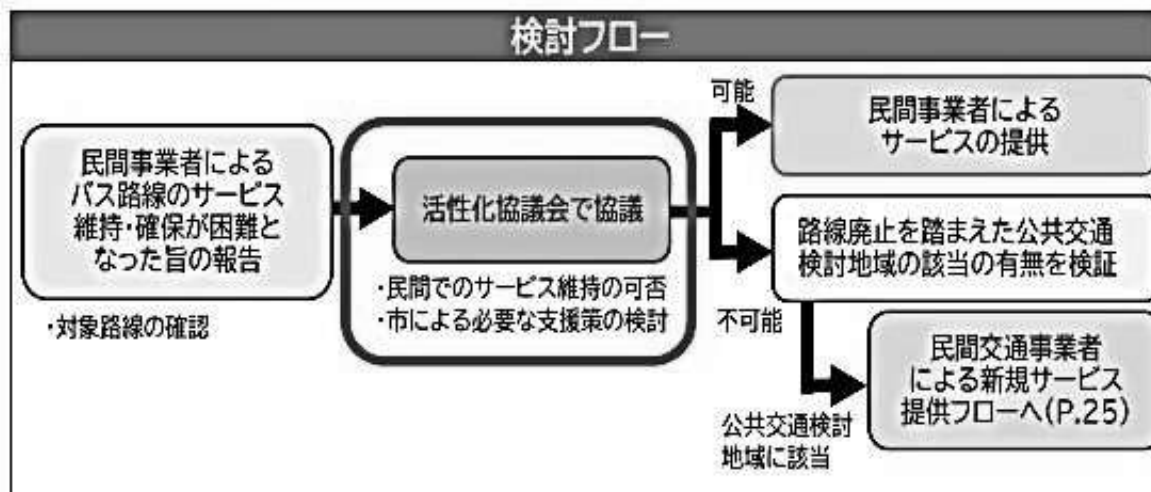
【報告】

- 令和6年1月以降、市が運行経費を最大1年間補填し、運行を継続予定

【協議】

- 「公共交通検討地域」への対応は、引き続き活性化協議会で協議

◆今後の予定



◆自動車運転者の労働時間等の基準改正

令和6年4月1日～

1日の拘束時間	最大 16 時間以内	➔	最大 15 時間以内 (基本13時間以内)
1日休息时间	最低 8 時間以上	➔	最低 9 時間以上 (基本11時間以上)

◆流山ぐりんバスの減便

【方針】

1. 土休日及び年末年始ダイヤの導入
2. 現在の運行間隔を維持(20分～40分)
3. 利用者の少ない終発(夜便)から減便
4. 土休日は始発(朝便)からも減便

【減便数】

- 平日は、2～6便の減便(予定)
- 土休日は、4～18便の減便(予定)

※ 令和6年4月1日(月)までにダイヤ改正が必要

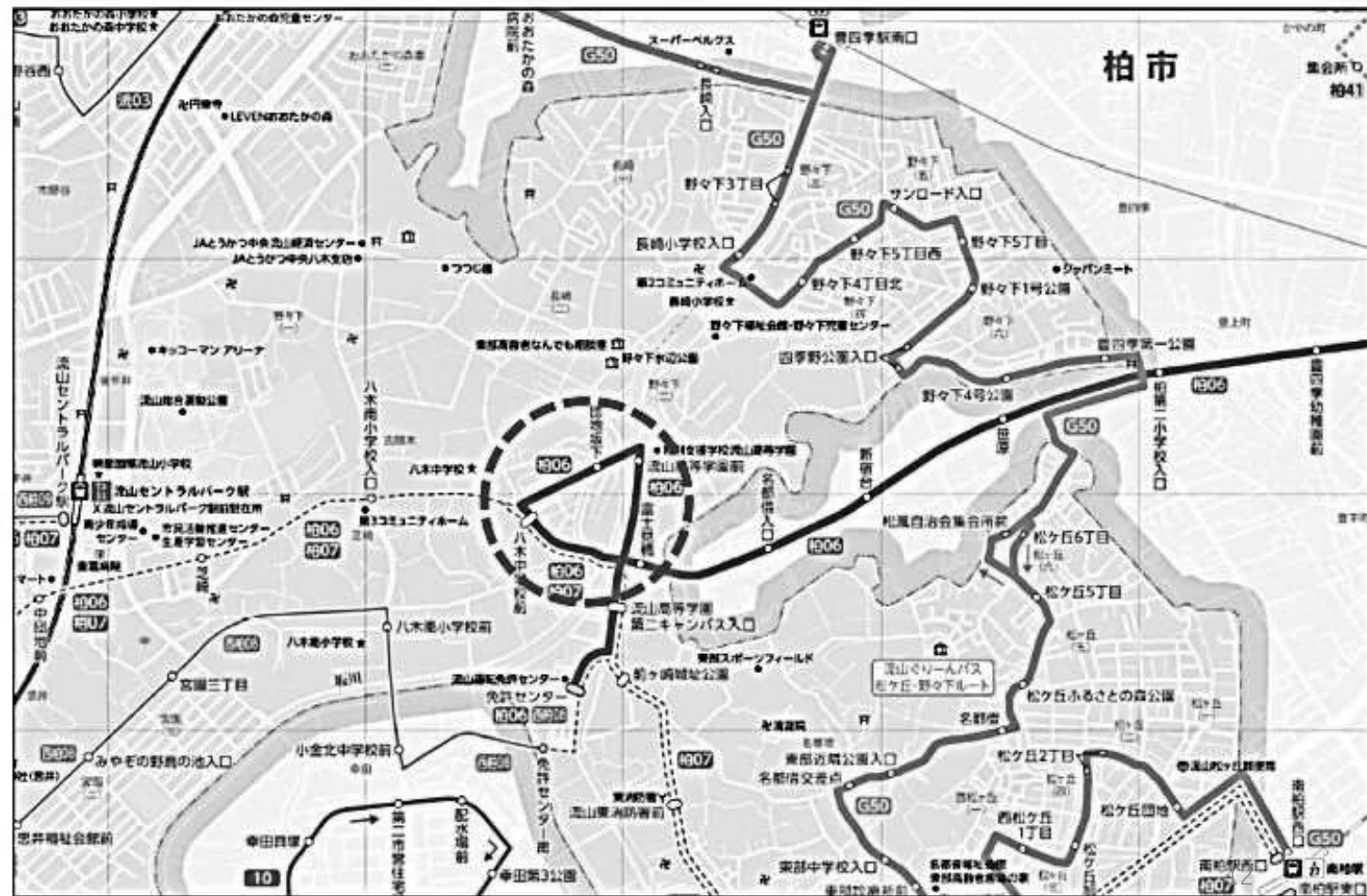
3. 八木南団地

◆経過

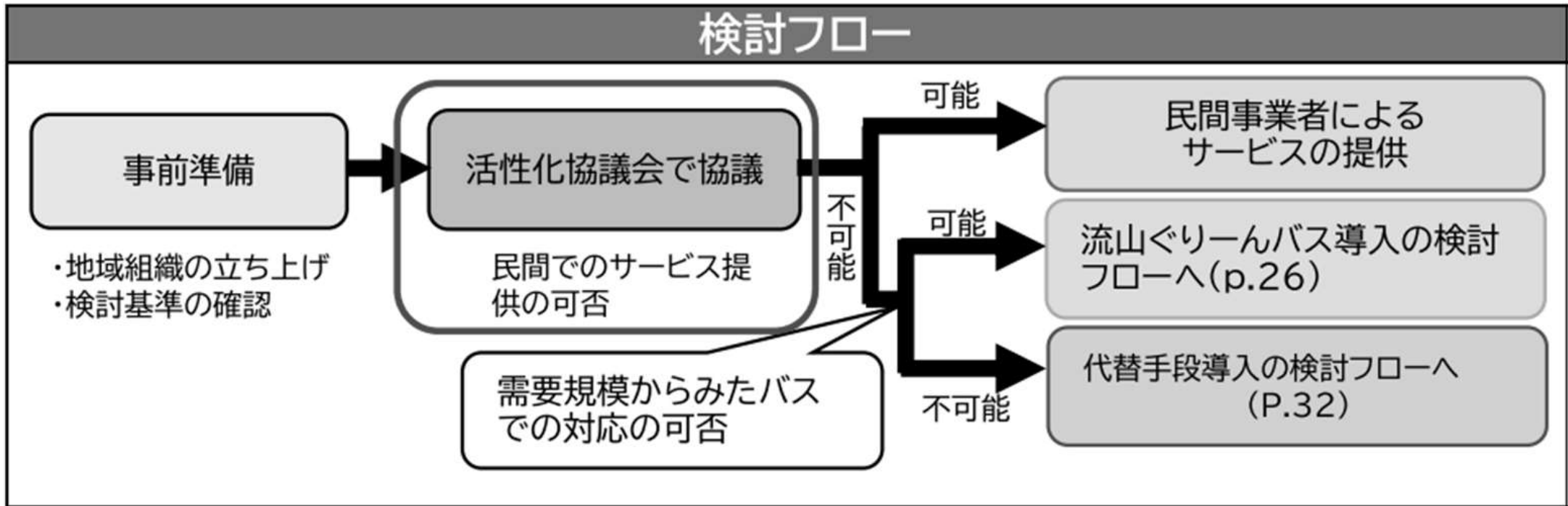
- 令和5年6月26日
「八木南団地自治会地域公共交通
検討委員会」の設立
- 令和5年7月25日
「令和5年度第2回流山市地域活性
化協議会」にて、検討委員会の説明

◆要望要旨

- 主な目的：高齢者の足の確保
- 目的地：病院、駅
- 交通手段：デマンドタクシー



3. 八木南団地の公共交通導入検討について



◆協議事項

1. 民間事業者によるサービスの提供が可能か
2. 流山ぐリーンバス導入の検討を進めるべきか
3. どのような代替手段が考えられるか

八木南団地

◆経過

- 令和5年6月26日
「八木南団地自治会地域公共交通
検討委員会」の設立
- 令和5年7月25日
「令和5年度第2回流山市地域活性
化協議会」にて、検討委員会の説明

◆要望要旨

- 主な目的：高齢者の足の確保
- 目的地：病院、駅
- 交通手段：デマンドタクシー



東部地域の交通課題

- セントラルパーク駅(東葛病院、キッコーマンアリーナ、生涯学習センター)に行くバスがない
- 坂道の多い地域で日常生活を送るのが困難
- 高齢化が進み、福祉有償運送が必要な地域が増えている